

交通安全

- ◎遊ばせせん こわい車の通る道
- ◎お母さん幼児は右に手をひいて
- ◎一度だけ 一ぱいだけは事故のもと
- ◎むりな追越し わき見はしない

# 館報

発行所 大熊町公民館  
電話大野 (024032) 65番  
編集責任者 吉田 農夫 雄  
印刷所 加納活版所  
電話平 (4) 2409番

若さとはこだわらないことである

## 歴史百年の教訓

### 先人とわれら

#### 廿世期末に立つて

私達は生ある人間として明治百年を前に迎えた。誠に御慶に堪えない。日本人であるが故に、この明治百年の過程の何年かを歩み得たことを誇りとすうに考えたらいいか、国の基本理念を記述し、皆様の認識を更に深め国力進展のための将来への足掛りとしたい。

#### 明治百年を祝う

一、明治は、世界史にも類例をみぬ飛躍と高揚の時代である。  
日本はこのあいだに封建制度から脱却し、全国民は驚くべき勇氣と精力をかたむけ、近代国家建設という目標に向かつてまい進したのだ。

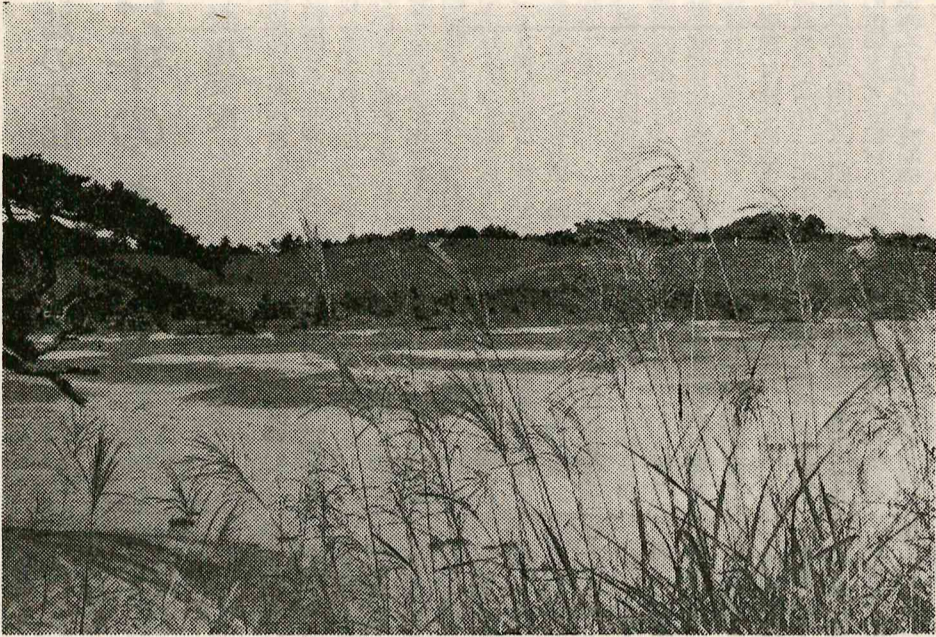
#### 標に向かつてまい進したのだ

この光輝ある時代の出発にあたって「明治」という年号が定められてから、まさに二世紀になろうとして

今、明治百年を迎えるにあたり、日本国民が先人から受けたこの恩恵に感謝し、その幸せをいっそう大きくして次の時代に引き継いでいこうとする。自然の道である。もちろんこの願いは、たんに先人を礼讃し記念することでも終わるものではない。

三、これまでわが国民を鼓舞してきた「欧米に追いつき追い抜く」という目標も、ある程度までは達成されたが、先進諸国の文明を吸収しこれら諸国を追い越すこと、足らぬわが国は、発展途上にある隣邦友邦諸国から指導と援助を求められる立場にもなってきた。

他面、高度化した物質文明が自然と人間とを荒廃化させている傾向が顕著となってきた。いまこそ、この先人の勇氣と應答と努力とに對し、敬意と称賛の念を禁じ得ない。



ふるさとの中秋 中秋は初秋晩秋に対する語で陰曆8月をいう。この月の満月を中秋の名月といつて昔から詩歌、俳句の好題材となつています。夕月や池をめぐりて夜もすがら 名月や暈の上の松の影  
なお今年の名月は10月6日です。

## 東京へ4時間！

### 急行列車三本停車

町民久しく待望の急行列車が、大野駅に停車するようになつてから、早や一ヶ月を経過したが、国鉄では今秋十月一日のダイヤ改正により、大野駅に三本の急行列車が、停車することになった。しかもこの列車はいずれも電車で、スピードも大巾にアップされ、上野駅まで四時間〇二分に到着するようになった。

町民の利便は勿論のこと、地域開発のうえにも大いに益することとなり、誠に慶びに堪えない。

## 水道事業について

### 白く濁るのは気泡のこん入

大熊町広域簡易水道も皆さんのご協力により半ばは出来上り七月より順次給水来年三月三十一日までに工事完了して全町民に清浄で豊富且つ低廉な飲用水を供給することになります。本事業開始以前は時折折局部断水、時間断水等がありましてその直後空気が混入して白く濁つたような水が出るのがありますが、これは消毒薬の入れ過ぎや本当の濁りではなく気泡が水に

## 秋の防犯

警察では九月から十月にかけて秋の防犯運動を行ない警戒を強化しています。みなさんも、お互いに注意して、このような被害にかからないようにしていただきたいと思います。

井戸川企画室長

## 母子健康手帳の交付

妊娠が確定したら「妊娠三ヶ月頃が適当」医師または助産婦に証明書を書いてもらい役場住民課で妊娠届をして母

## 富岡警察署

この妊娠証明書をとりつけるには尿中蛋白質の有無血圧の検査梅毒血清反応及び胸部X線のすんだ証明が必要で、これらの検査は妊娠届のためばかりでなく、妊娠分娩が全身に障害を与えないかどうかを判定する上にも必要です。からおそくも妊娠四ヶ月頃までにはませることが肝要です。

上り	大野駅	野上駅	馬場原駅	大野駅
1	7.09	11.14	14.45	17.55
2	10.03	14.57	18.28	21.55
3	14.45	18.57	22.28	25.55
4	17.55	22.28	25.55	29.55
5	21.55	25.55	29.55	33.55

これは消毒薬の入れ過ぎや本当の濁りではなく気泡が水に

この妊娠証明書をとりつけるには尿中蛋白質の有無血圧の検査梅毒血清反応及び胸部X線のすんだ証明が必要で、これらの検査は妊娠届のためばかりでなく、妊娠分娩が全身に障害を与えないかどうかを判定する上にも必要です。からおそくも妊娠四ヶ月頃までにはませることが肝要です。

この妊娠証明書をとりつけるには尿中蛋白質の有無血圧の検査梅毒血清反応及び胸部X線のすんだ証明が必要で、これらの検査は妊娠届のためばかりでなく、妊娠分娩が全身に障害を与えないかどうかを判定する上にも必要です。からおそくも妊娠四ヶ月頃までにはませることが肝要です。

# 生産手段と構造の変化 農政百年のあゆみ

## 封建支配の農業から近代農業へ

「農ヲ以テ國ノ本ト爲ス」徳川幕府の百姓は「生きぬよう」に、死なぬよう」の政策も明治の御代になり、「村々ノ地面ハモトヨリスベテ百姓所有タルベシ」の太政官布告によって、百姓安楽の道が開かれた。

農民の土地所有権が認められ、士農階級の世となったが封建的支配層の勢力が強く明治十年頃の生産物の分配率

国家 三〇%  
地主 三八%  
小作人 三二%  
であったといふ。

又大正に入つて地主と小作人の紛争が尖鋭化し、農村恐慌のつめたい風は、青田売りと女工哀史の物語となって伝えられている。

青田売りによつて産業組合が誕生し、農民が共存共栄の旗印の下に結集してその勢力が大きくなったので、昭和八年頃には反産運動が起つた。又その当時生活に苦しむ農家は田畑を農工銀行の担保に入れて娘を嫁にやつたといわれている。

昭和五年に経済更生運動が提唱され当時大野村等は自力更生特別指定村になつて、隣

保協助、共同作業が励行され又冠婚葬祭の簡素化の実をあげ、その美風がのこつていくかゝして農村も生れ変わる。とす頃戦争が年々拡大され戦時統制下に入り、労力、資材不足で米の生産も低下し、一方食糧が不足し、食糧費が家計費の八〇%を占める時もあった。

戦後、自作農創設を目的に農地改革が断行され又食糧調整の意味から食糧管理制度が設けられた。

戦後の復興はめざましく、神武景気(昭和三十年頃)岩戸景気(昭和三十四年頃)の出現となつて農村に三種の神器(テレビ・洗濯機・冷蔵庫)が各戸に備えられるようになった。

昭和三十四年農業基本法が制定されて、近代化農業の道しるべを示されたが、農家の実態は、三ちゃん……半ちゃん農業が多くなつてきた。

然し集団栽培や機械化省力によつて経営は近代化された。そして今一曲り角に立たされ、更に二十一世紀に向つて雄々しく躍進しようとしてゐる。

堀川 晃

① 米の収量(反収)  
明治初年は約一五〇担と推定している。百年後の今日約三倍の収量をあげる事ができるようになったが、その間に大凶作あり、冷害あり又戦争中の低収量等、私達の先祖、親達の苦労がよくなるはれる(別表参照)

② 米の価格  
昭和二十年をインフレの頂点として上昇したが、この価格によつてその時代の経済の教訓が判断できると思ふ。特に大正八、九年の欧州戦争と米騒動が思い出され、米の値段が上がつたことがつなげられる。

③ これからの米づくりは

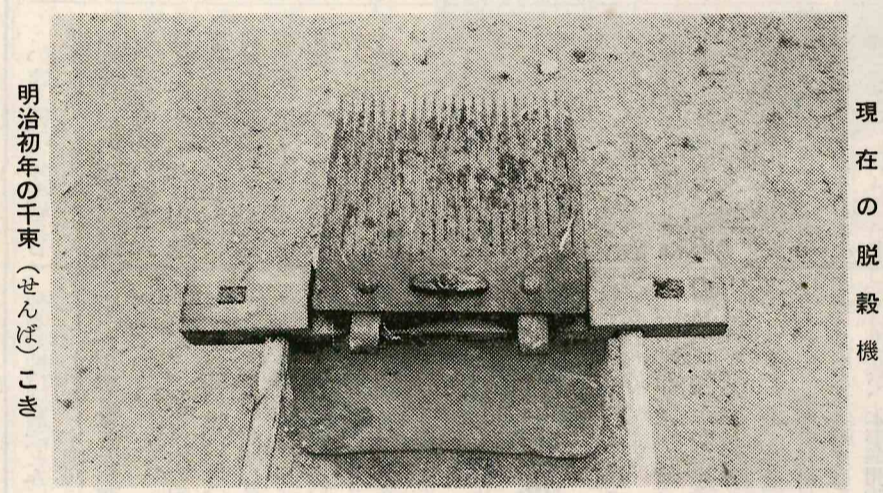
① 明治初年は野草を切り取り堆肥をつつて肥料とした。明治四十年頃に初めて過燐酸肥料を使い始めるようになった。米の収量が増加した。又満洲産の大豆粕を肥料として使用していた。

② 明治四十年頃に始めて「持立鋤(馬耕)」が出来、それ

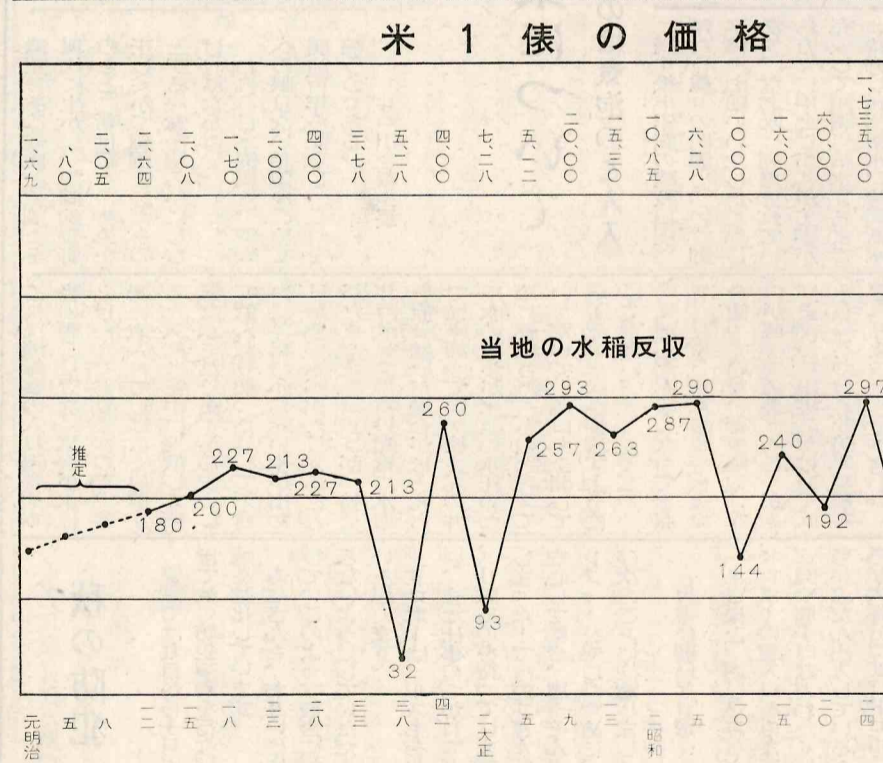
## 米づくり百年



稲刈機「バインダー」



明治初年の干束(せんば)こぎ



「家庭教育学級開講」  
43年度の家庭教育学級はモデル学級確立のために定員30名、時間数24時間の予定で大野中学校を開設場所として近く開講の予定。  
学級生すいせん書を公民館長大野中学校長連名でさし上げますので、学級確立のため御協力をお願いします。

「福島県立一日図書館の開館」  
公民館では去る9月16日大野郵便局、N・H・Kと共催でN・H・Kと話し合いの日を実施したが今度は、10月16日の午後二時から大野町公民館を会場に、福島県立図書館と共催で一日図書館を開催することに決まりました。  
映画、母子の20分間読書運動、11人の嫁たち、などの上映……  
図書の出し出し、座談会その他数々の行事がもたらされる町内皆さんの御来会をお願いします。



現在の脱穀機

「農林十号」が生れ代表種とされたが、早生、早植、多収の育種三十年間の研究の成果として「フジミノリ」が生れ、大野町で今二〇ヘクタール近く作付けされている。

④ 米の収量(反収)  
明治初年は約一五〇担と推定している。百年後の今日約三倍の収量をあげる事ができるようになったが、その間に大凶作あり、冷害あり又戦争中の低収量等、私達の先祖、親達の苦労がよくなるはれる(別表参照)

⑤ 米の価格  
昭和二十年をインフレの頂点として上昇したが、この価格によつてその時代の経済の教訓が判断できると思ふ。特に大正八、九年の欧州戦争と米騒動が思い出され、米の値段が上がつたことがつなげられる。

⑥ これからの米づくりは

### 公民館便り

資料を提供してくれた老農に謝辞。  
堀川 晃

「若妻学級」  
若妻学級生も年と共に年令が若返つたせいとお腹のこのぼこ等生理休暇や赤ちゃんの子育てに仕事に追われ最近出席が下つてきたようだ。  
連続の豊作で農家は一層豊かな生活ができ、ほぐましい事である。  
幸い現代のお姑さんは昔と異なり理解があり、姑は婦人会に嫁は学級にとお互に理解し合い自己向上を自し、明るく家庭づくりに努力している事は喜ばしい事である。  
広報係りの努力が実り々のきくこの第一号を発行するまでごぞつたことは大いに祝福すべきだ。  
嫁の名にふさわしく、雑草にも負けず野辺に可憐な花をつけて名前を取つたの事だ。多忙な中で実行に移した意欲には当局でも感服している。他町村よりおらが嫁はといつ八郎瀧の二戸当り一〇ヘクタール、水田一枚二・五ヘクタ

「青年学級」  
青年学級生の派遣学習も石井弘君(小入野)の県内研修愛媛誠君(下野上一区)の郷土振興青年指導者研修と続いているが、この程度一〇名の国内派遣生に選ばれて秋田青森県内の民泊研修を終えて帰つた沢内俊昭君(天和久)八郎瀧の二戸当り一〇ヘクタール、水田一枚二・五ヘクタ

「婦人教育」  
43年度県派遣婦人国内研修九名の中に河西カツ前大野婦人会長さんが選ばれて9月24日に出発。  
七日間にわたり、山形県、秋田県の各地を訪問して帰つて来た。

「若妻学級」  
若妻学級生も年と共に年令が若返つたせいとお腹のこのぼこ等生理休暇や赤ちゃんの子育てに仕事に追われ最近出席が下つてきたようだ。  
連続の豊作で農家は一層豊かな生活ができ、ほぐましい事である。  
幸い現代のお姑さんは昔と異なり理解があり、姑は婦人会に嫁は学級にとお互に理解し合い自己向上を自し、明るく家庭づくりに努力している事は喜ばしい事である。  
広報係りの努力が実り々のきくこの第一号を発行するまでごぞつたことは大いに祝福すべきだ。  
嫁の名にふさわしく、雑草にも負けず野辺に可憐な花をつけて名前を取つたの事だ。多忙な中で実行に移した意欲には当局でも感服している。他町村よりおらが嫁はといつ八郎瀧の二戸当り一〇ヘクタール、水田一枚二・五ヘクタ

「青年学級」  
青年学級生の派遣学習も石井弘君(小入野)の県内研修愛媛誠君(下野上一区)の郷土振興青年指導者研修と続いているが、この程度一〇名の国内派遣生に選ばれて秋田青森県内の民泊研修を終えて帰つた沢内俊昭君(天和久)八郎瀧の二戸当り一〇ヘクタール、水田一枚二・五ヘクタ

「婦人教育」  
43年度県派遣婦人国内研修九名の中に河西カツ前大野婦人会長さんが選ばれて9月24日に出発。  
七日間にわたり、山形県、秋田県の各地を訪問して帰つて来た。

### 体育向上のバロメータ一 双葉郡総合体育大会

昭和38年度から郡町村会の首唱で戦前から実施されていた双葉郡町村対抗の総合体育大会が復活した。種目は陸上競技全般、バレーボール(男子・女子)、剣道、銃剣道、柔道、卓球、相撲の七種目で42年度までの大熊町の成績は次の通りである。

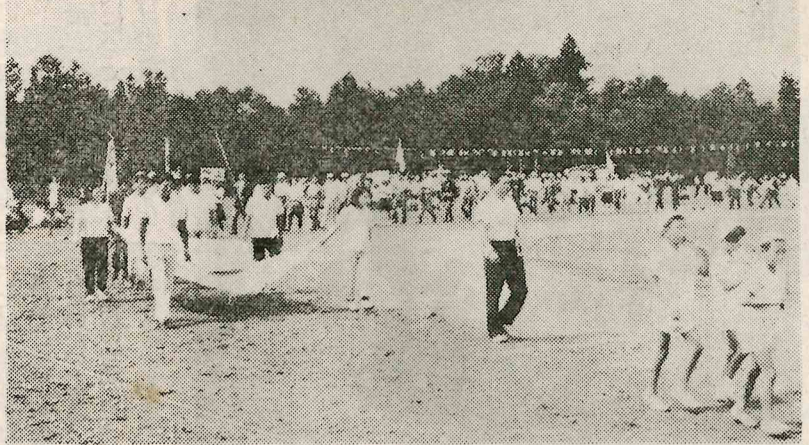
- 昭和38年度 準優勝
- 昭和39年度 優勝
- 昭和40年度 準優勝
- 昭和41年度 優勝
- 昭和42年度 優勝
- 昭和43年度 優勝
- 昭和44年度 優勝

昭和43年度の大会は来る十月十三日、県立双葉高等学校を会場として晴雨に関係なく行われ、町内総人口に於いては他町村に較べてすくないが、五カ年間に及ぶスポーツ教室実施の組織力の上に立って必勝の意気に燃えており町民あけての応援参加を望んで止まない。特に、大熊町選手陣の一翼

### 充実の期を迎えた 町の社会体育

文部省では社会人体育の向上のために、スポーツ教室振興費補助金を出しているが、福島県では県下一〇の市町村(市三、町五、村二)を指定して振興の足掛かりをつくらせてきた。大熊町が始めて指定を受けたのは昭和39年度以来引続き43年度まで5ヶ年間の指定を受け社会体育の組織と振興につとめてきたが、今や文字通りスポーツの町として力強い準備をなせてきた。

スポーツ教室5ヶ年の成果



町民体育祭入場式(9月1日)夜来の雨も吹き飛ばして

### 息づまる接戦を展開 大熊町町民体育大会

9月1日は昔から天候の荒れる日とされている。ところが一昨年の区長会で町民体育祭は9月の第一日曜日と定められ今年第一日曜日が9月1日となった次第で、8月31日小雨降る中で準備が進められてきた。

あけて9月1日、夜来の雨が降り止まない午前5時、体育指導委員長の渡部哲氏が公民館に真先に駆けつける。勿論のこと公民館に居る半谷圭事補はとうとう起き出して来た。

調べぬいた天気図。そして予報。雨が止む保証はどこにもない。

予定の午前6時、一同小雨降る中を大中校庭に出て四周を見渡したら日陰山が降りこめ雨の中にくっきりと姿をみせていた。

「日陰山が見えたら雨が降らない。……これこそ私達の先祖以来の生活体験からいって伝えた。」

よし、花火を揚げる！  
ドダウン！四寸花火を打ちあげた途端に雨が激しくなってきた。「花火が揚ったから来たみたよ。吉岡三君が駆けつけて天幕の中に雨をさけた」

### 大熊町球技大会 第二回

東電、野上、前田組チームなど優勝

昨2年度より、10月10日の内あけての球技大会を催す国民体育の日行事として町にきまってきたから今年二年

目、地域の箱作り作業の進み具合を考えて9月8日に繰り上げ実施された。

この大会は、スポーツ教室各コースの試合訓練を中心として行なわれるもので、特に野球コース、卓球コースには町長杯、家庭バレーボールコースには今年度から町議長杯が準備された。

又今年度は球技と共に銃剣術が実施され、スポーツ大熊の力強い姿を浮きほりした。

当日午前9時、大中講堂で選手、係員の入場。開会宣言、国旗掲揚、優勝杯返還。主催者あいさつ。祝辞。競技開始宣言。審判長注意と、開会式が行なわれたと各会場に別れて熱戦を繰り上げたが、各試合の状況は次の通り。

- 男子バレーボール  
東電チームと野上3区チームが熱戦、東電チームが優勝
- 女子バレーボール  
東電チームと、大野病院チームが対戦し、大野病院チームが惜敗した。
- 家庭バレーボール  
熊川、下野上2区、夫沢3区、熊二区、野上3区、下野上1区、駅前、大川原2区、大川原3区、大川原4区の10チームが参加し、終日接戦を続けた結果次の成績に落ちついていた。

- 優勝 野上3区
  - 準優勝 夫沢3区
  - 三位 熊川
  - 四位 下野上1区
  - 五位 下野上2区
  - 六位 野上1区
- 一般バレー、家庭バレーの両試合を行なった大中講堂は各チーム、応援団と、五〇〇余人が詰めかけて熱気満堂を圧する盛況であった。

- 男子ダブルス、女子ダブルス、男子シングルス、女子シングルス
- 男子シングルス、女子シングルス
- 男子ダブルス、女子ダブルス
- 男子シングルス、女子シングルス
- 男子ダブルス、女子ダブルス
- 男子シングルス、女子シングルス

久麻川民話集  
はなどり地蔵

熊町の地は、早くから開けたところで、奈良朝の御代に陸前浜海道を官道として整備熊町と呼ばれてきました。

した時に、日熊野の駅を置いたもの附近だったろうと云われています。

中世になってからも開門が設けられて熊川宿、あるいは熊町と呼ばれてきました。

野山の若葉が日増しに緑をまわして、田植も間近の五月のある日の事でした。

老夫婦は朝早くから野良に出て二人仲良くあらしをかきに従事していました。

お爺さんが、マンガを押しながら泥田の中をころびながら泥まみれになって馬の鼻取りをしているうちに、お婆さんは急に腹が痛みだしてもう仕事どころではありませぬ。

しばらく家に帰って休むことになって田からあがりました。独り田の中にこされたお爺さんは、一人でしろかきもなすに途方にくれてポンヤリと雲間を覗くとお爺さんの声に耳を傾けていました。

「お爺さん、こまっているんだろ？俺が手伝うよ。」

「いつのまに、どこから来たのしょう。里には見なれぬい七十八才の少年がニコニコと笑顔を覗かせて田の畦に立っていました。」

あまりに小さな子どもなのでお爺さんが驚き顔に、「お前さんは鼻取りをした事があるんかい。」と聞きますと、少年は、「やった事なんかないけど、出来るよ。」といいながらジャブジャブと田の中に入って馬に取りつきました。

ところがどうでしょう。馬取りのままだくではありませぬか、お爺さんはすっかり喜んで一生懸命に頑張りましたので仕事は大変にはかどりました。

しばらくたって腹の痛みがおさまったお婆さんが、急いで田んぼに帰って来ました。これを見た少年は、「俺らあ

もう帰るよ」とトイと鼻取りをやめてスタスタと南の丘の方に歩き去ってしまいました。

「お婆さんよ、今途中で七十八才の子どもに会わなかったか？」「うん、誰とも会わなかったけど。」

お婆さんが答えました。「お爺さんが一部始終を話して、「お婆さんや、あなたからあの子どものな、お札を云っておくれや。」というのでお婆さんはすぐに子どものあしを追って丘の上の地蔵堂の森でやうとこのこに追いつきました。

ところが驚ろいた事に、少年はスイとお堂の中に吸込まれる様に姿を消してしまいました。お婆さんは恐ろお堂のなかを覗きました。

地蔵様もよほど急いだので、両膝を組む暇がないので片膝を立膝にしたまま座っていました。

組み合わせた膝からは、ポトリ、ポトリと水が垂れ落ちて膝から下は泥水ですっかりぬれていました。

それから後、里人は地蔵様を「はなどり地蔵様」とよんで崇めてきました。

そして地蔵様が化身して鼻取りを手助けした大字熊字本町地内の田を地蔵仏と呼んで毎秋の実り物を供える様になりました。

長い昭和の動乱も終わった時、放心状態に陥った里人は神も仏も忘れ去ってしまいました。地蔵様も里の子どもたちに持ち出されて、熊川の川辺で水泳のお供をする日が續いていました。

里人の心に平和がよみがえって、地蔵様にも再び地蔵堂に帰る日が訪れました。

地蔵様は今も尚、半跏趺坐のまま、お堂の中に鎮まっています。

本名を延命地蔵様といいますが、

吉田農夫雄



熊町の、はなどり地蔵堂

役 町の生活改善に一役  
大野婦人会貸衣裳部

大野婦人会貸衣裳部では豊稔の秋と共に結婚シーズンに備え九月の定例役員会にはかり左記の値段に決定、町の生活改善と天野婦人会事業資金造りに一石二鳥を兼ね今秋も新打掛を兼ね今秋も新打掛

振袖、中年向き江戸袴を新調し皆様の着物として御気軽に御利用下さるよう呼びかけている。

- 新打掛振袖 一五、〇〇〇円
- 打掛振袖 一〇、〇〇〇円
- 七、〇〇〇円
- 四、〇〇〇円
- 八、〇〇〇円
- 六、〇〇〇円
- 四、〇〇〇円
- 中年向き江戸袴 六〇〇〇円、二、〇〇〇円
- 若向き江戸袴 三、〇〇〇円
- 喪服一揃 三、〇〇〇円
- モーニング 一、三〇〇円

# 町民の広場

本欄には投書 会合 ちまたの声を主にのせました

## 敬老の日に思う

毎年九月十五日の敬老の日を中心に、町に於ては敬老会が実施され、色々の催しがある。そのことに對しては老人の方々は心から喜んでおられる。また家族の人々も感謝してゐる。しかしそれが過ぎるとさうばり老人は忘れられてしまふ。

下野上二区では八幡神社祭典の日、高齢者一同を招待し老人向きの御馳走をし、おみやげを贈り、盆踊りを披露し

## うまい米

今年もまた史上最高の豊作で米が国内に溢れだつてゐる。その事は農民にとつて嬉しいことなのか、心配なことなのか、わからぬ。

農民が精米を傾けて米を作れば、すぐ生産過剰になる。かつて、銀シャリとが純粋とて、米の飯が珍重されたのは一場の夢に過ぎない。

従つて今や量より質への時代になつてゐる。とれさすれば金になつた時代は終つた。



民芸発表会の一部門舞踊踊り

お盆の行事にもう一つの花を添えようとして本年一月に発足したばかりの当町の無形文化財保存会(吉田義員会長)が去る8月15日大野中学校体育館で第一回の民芸発表会を催した。折角の発表会ではあったが事前対策の不足から町内全域に周知できなかったことがなんとして惜しまれてならない。

然しながら堂々とまじめに発表したあの態度を待たして永く継承されるよう期待されてゐる。なお発表した種目は38で、部門は次のとおりである。

1 神楽。2 宝財踊り。3 鹿舞い踊り。4 念仏踊り。5 民俗舞踊。6 郷土民謡。7 樽太鼓

## なんと12年ぶり?

今までだと地域別に催された夜行の行事が殆どなくなったと思つても見られなかったが今回発表された郷土民芸は一ヶ所で七部曲も発表されたことが特徴的だ。それになんといつても夫沢部落のジャンガラ念仏踊りが七年ぶりに振舞われたこと、12年ぶりの野上の神楽が町民に親しまれたことが非常に意義が深い。熊川の鹿舞いが部族の協力を得たことなど熱意があればこそだと思ふ。

## 町の未来像

後進地帯と未開発の谷間の双葉郡と言われていたが急に脚光を浴びてきた中双未来の中心地、大熊町について



東を流るる川。この川に浮べる白いボート。ハイキングコースの春の山菜、秋の幸。玉の湯の安楽地もあり、また数ある湖を統合管理した

## 大熊町の現状とこれから

(その3)

町に於ける路面の両端に桜や梅並木を配して軒並が続く。工場団地が出現して野上、大川原へバットタウン群が置かれる。日曜山が中心となって小塚、手の倉ダムにレジャーの場、産業の躍進を図る。そしてこの大熊町に埋蔵され

## 郷土民性に関する考察

戦前各小学校には郷土誌が備えられ、郷土に関するあらゆる記録がなされてきた。

熊町小学校の郷土誌より、郷土民性について短所と思はれる面を抽出してみよう。今はその弊が矯正された面も少なくない。

- 1 台所の設備不良
- 2 飲食物に無関心
- 3 寝具の不清潔放任
- 4 妊産婦の衛生思想乏しい
- 5 完業及び素人治療にたよる者多し
- 6 飲酒の弊多し

## 大野駅開設と市街発展について

昭和二十五年、故林甚太郎氏遺稿「大野文化史」の中に大野駅の開設と駅前市街の発展について、次の文が記録されている。

わが大野駅は平市へ十三里、中村町(相馬市)へ十三里、三春町へ十三里という三鼎立中心地で、田村地方より常磐線へ出る要衝地点で、明治三十一年、大野駅開設以来、乗客、客、増加し、その上巨額の薪炭材木及び米穀輸送してさしもの淋しき鮎沢の原野も一変して市街を形成した。

当時創業時代を回顧するに第一先立して田村政治氏(池田 男氏祖父)飲食店を開店して客を呼び、第二大和屋旅館(中里氏祖父)料理湯浴業を営み、続いて滝本太夫の汁粉屋、次に和屋旅館(油屋敷地)開店、続いて渡辺義邦氏運送業を経営した。引続き、会津屋(武岡氏宅)志賀

## 県立大野病院改築の約束とその促進

県立大野病院の建築問題が一体どのように進められているのか、一般町民には皆目わからない。

だがこのことは一地域に限られる特定の課題であるとはいえない。町民の健康に重大な使命を尽していることを考えれば、この問題として取り扱わなければならない。町当局もこの重要な課題にさぞかし多くの神経を費していることだろうが、この時こそ地域別協議会などとして対策すること強く望みたい。議員の方々も方々の意見を聞く等円滑に全力投球していただきたい。

それから私も住民は現状をよく理解するために町当局の説明や議会のものなど十二分に耳を傾け、然る後全体的な利益となるように終局的結論を出し、町民としての最大の協力をしようではないか。

大和田武夫

## 馬頭観音さま



上は七年ぶりに陽の目を見た念仏踊り

下野上南谷秋元商店より西百メートルの所に馬頭観音さまがたつてゐる。慶応四年、講中と記録されているので、今より約百年前の人々がその頃農家として最も大切な馬の安全を祈るためにたてたものであつた。こぼかりでな

## 郵政事業の迅速化

郵政事業は民主的而も親しまれる職場づくりが今、急速に必要視されてきています。融通性も弾力性もない人間像を私は一番怖い。お互いに利用される人間像になるためには先ず気軽に付き合ひ、意志の疎通を図ることだと思ふ。

常に新しきを求めながら町の発展に即応する公共機関である様に皆さんの御叱責をお待ちしております。郵便番号制度にしてみても近代的迅速化の現われでありそのための努力は汗して快い疲労を感じます。更に電話事業は町発展

## 編纂部

最近「や、充実してきた」の批評をうける編集委員会ではあるが、その実は原稿その他の取り集めに相当の多難を期しております。

公民館報は社会教育として通信的役割を果たすための重要な使命を帯びてゐることは勿論です。

一戸に一枚当り配布している割りに反響の少ないのはどうしても反省せざるを得ない状態です。

編集部はこうした悩みをかゝえながらも多くの成果を自指して懸命に努力をしておりますので、御下出下さるご支持をお願いいたします。

なお本号は明治百年記念号といたしました。

## 声

商店主婦の話

お客様はわがままである。休業日と知りながら買物に